



Sun™ Virtual Desktop Connector 1.0 リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-4792-10
2008 年 3 月, Revision A

Copyright 2007, 2008, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun Ray, Sun Ray Connector for Windows OS, Sun Secure Global Desktop, Sun WebServer, Sun Enterprise, Ultra, UltraSPARC, Sun Java Desktop System, SunFastEthernet, Sun Quad FastEthernet, Java, JDK, HotJava, Appliance Link Protocol (ALP) は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

VMware は、VMware, Inc. 社の商標もしくは登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Virtual Desktop Connector 1.0 Release Notes
Part No: 820-3022-10
Revision A



目次

システム要件	1
サポート対象のプラットフォーム	2
オペレーティングシステム	2
仮想化プラットフォーム	2
インストールノート	3
利用可能なパッチ	3
既知の問題	4
ドキュメント	5
問題の報告とフィードバックの提供	5

Sun Virtual Desktop Connector 1.0 リリースノート

Sun Virtual Desktop Connector (VDC) は、Sun Ray Server Software 4.0 や Sun Secure Global Desktop 4.4 などのデスクトップインフラストラクチャ技術を、VMware® Virtual Center などの仮想化サーバーと接続して、ユーザーが thin クライアント、Web ブラウザ、またはその他のデバイスから同じ仮想デスクトップにアクセスできるようにします。また、仮想デスクトップと仮想マシンの作成および管理のための多くの機能が備わっています。詳細な説明は、次のサイトにある『Sun Virtual Desktop Connector 1.0 インストールおよび管理ガイド』に記載されています。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/820-4768>

このドキュメントには、要件やサポート対象のプラットフォームのほか、既知の問題と回避方法、テクニカルノート、追加リソースへのポインタなど、リリース時に利用可能な Sun Virtual Desktop Connector 1.0 に関する重要な情報が含まれています。Sun Virtual Desktop Connector を使用する前に、必ずこのドキュメントをご一読ください。

システム要件

Virtual Desktop Connector の管理 GUI の構成には、Apache Tomcat version 5.5 以上が必要です。その他の要件については、『Sun Virtual Desktop Connector 1.0 インストールおよび管理ガイド』を参照してください。

サポート対象のプラットフォーム

オペレーティングシステム

Sun Virtual Desktop Connector 1.0 は、次のオペレーティング システムで動作するように設計されています。

表 1 Sun Virtual Desktop Connector 1.0 のサポート対象のオペレーティングシステム

Virtual Desktop Connector	Solaris OS のバージョン	Linux OS のバージョン	Windows OS のバージョン
コアコンポーネント	Solaris 10 11/06 SPARC Solaris 10 11/06 x86	Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 4 Update 3 SuSE Linux Enterprise Server 9 Service Pack 3	
エージェント			Windows 2003 以上* Windows XP Professional

* Windows 2008 は、Virtual Desktop Connector 1.0 のテストが完了したあとにリリースされたため、サポート対象とは見なされません。

仮想化プラットフォーム

Sun Virtual Desktop Connector 1.0 は、次の仮想化プラットフォームをサポートします。

- VMware VirtualCenter 2.0.x
- VMware VirtualCenter 2.5

インストールノート

このリリースに含まれるファイルは、次のような構成になっています。

- vda_1.0

Virtual Desktop Connector のインストールと実行に必要なすべてのパッケージと、Virtual Desktop Connector および Apache Web サーバーのライセンス情報

- パッチ

Virtual Desktop Connector のすべての機能を十分に利用するには、使用しているオペレーティングシステム用に構成されているパッチを適用することをお勧めします。次の「[利用可能なパッチ](#)」を参照してください。

- vda-install

Virtual Desktop Connector のインストールを実行するためのセットアップスクリプト

利用可能なパッチ

Sun Ray データストアを Virtual Desktop Connector の構成バックエンドとして使用できるように、このリリースには Patches サブディレクトリに特別なパッチが含まれています。このパッチは、次のオペレーティングシステム固有のバージョンで利用できます。

表 2 Sun Virtual Desktop Connector の推奨パッチ

パッチ番号	オペレーティングシステム/プラットフォーム
127553-XX	Solaris SPARC
127554-XX	Solaris x86
127555-XX	Red Hat Advanced Server および SuSE Linux Enterprise Server

このパッチの /opt/SUNWut/lib/utprop には、libutadmin の拡張版および utprop コマンド行インタフェースの変更版が含まれています。両ファイルとも、SUNWuta パッケージの一部です。所定のパッチをインストールするには、そのパッチの README ファイルの説明に従ってください。

既知の問題

注 – ここに挙げられていない共通の問題に対する解決方法については、『Sun Virtual Desktop Connector 1.0 インストールおよび管理ガイド』の「トラブルシューティング」を参照してください。

VDC エージェントと Windows OS のローカライズ版 (Bug ID 6675420)

VDC エージェントのインストーラは、デフォルトでは、英語版以外の Windows 上でエージェントをインストールしません。VDC エージェントのインストーラがあるパスの検出が言語に依存していないため、Web Access との通信に必要な VMware 証明書 (rui.crt) を見つけることができません。

回避方法としては、英語版以外の Windows 上で VirtualCenter をインストールしたあと、ただし VDC エージェントをインストールする前に、次の手順を実行します。

1. 次の場所に Application Data という名前のフォルダを作成します。

C:\<localized Documents and Settings>\All Users\

<localized Documents and Settings> など、文字列で使用されている斜体は、この名前がローカライズ先の言語ごとに異なることを意味します。localized という語は、実際にローカライズされた名前の一部ではありません。

2. 次の場所から、サブディレクトリを含むディレクトリ全体をコピーします。

C:\<localized Documents and Settings>\All Users\<localized Application Data>\VMware
コピー先は、次に示すこの新しいフォルダです。

C:\<localized Documents and Settings>\All Users\Application Data

3. VDC エージェントのインストーラを通常どおり実行します。

Netscape

管理 GUI では Netscape 4.x はサポートされていません。

VMware VirtualCenter

管理 GUI では、クラスタでのメモリー使用量の詳細が、マイナス記号 (「-」) や「利用できません」というツールチップのメッセージで示されることがあります。これは、VMware VirtualCenter のバグによるもので、リソースプールでのメモリー使用量が一定量を超えると、メモリー使用量は負の数として示されます。

ドキュメント

この製品の最新のドキュメントは、docs.sun.com で公開されます。さらに、Virtual Desktop Connector の管理 GUI に、コンテキストオンラインヘルプが用意されています。

次の表は、各ドキュメントで説明されているタスクと概念を一覧表示したものです。

表 3 Sun Virtual Desktop Connector のドキュメント

情報	ドキュメント
ソフトウェアとドキュメントに関する最新情報	リリースノート
Virtual Desktop Connector とその各種コンポーネント、サポート対象のプラットフォーム、および環境のインストール、管理、および構成	インストールおよび管理ガイド
Virtual Desktop Connector と連動させながら使用できる一般的な使用説明	オンラインヘルプ

問題の報告とフィードバックの提供

一般的なフィードバックやソフトウェアのバグの報告は、次の電子メールアドレスに送信してください。

sun-vdi-feedback@sun.com

バグを報告する場合は、次の情報を伝えてください (該当するとき)。

- 問題の説明。問題が発生する状況や操作への影響など。
- マシンタイプ、オペレーティングシステムのバージョン、ブラウザの種類とバージョン、ロケール (該当する場合)、パッチを含めた製品のバージョン、その問題に影響している可能性のあるその他のソフトウェア。
- その問題を再現するために使用した方法の詳細な手順。
- エラーログまたはコアダンプ。

